

ナツダイダイ選抜系統の特性について

奥代直巳・高原利雄・石内伝治・生山 巖・\*七條寅之助  
(果樹試口之津支場・\*果樹試興津支場)

各地で選抜または育成されたナツダイダイの変異系統の特性を調査したので報告する。

材料及び方法

供試系統は、山口県選抜の早生1号, 2号, 62号, 186号, 晩生167号, 308号, 三重県選抜の山路, 静岡県選抜の田島, 平井, 和歌山県選抜の刑部, 果樹試興津支場育成の谷川の諸系統に普通系及び川野系を加えた13系統で, 1962年にカラタチ台に芽接ぎした苗木を1967年に1系統4~6本ずつ定植した。調査は, 幹周(接木部上10cm), 樹容積, 収量, 品質(可溶性固形物, Brix, クエン酸, す上がり), 回青などについて行った。

結果及び考察

樹の肥大については, 幹周は刑部が最も大きく, 次いで山路, 平井, 晩生380号が大きく, 早生2号が最も小さかった。樹容積は刑部, 平井, 田島の晩生ナツといわれる枝葉及び樹姿に特徴のある3系統が大きく, 早生1号, 168号は小さく, 早生2号が最も小さかった。収量は, 累計で普通, 田島が多く, 隔年結果も少なく, 次いで川野, 早生1号, 山路が多く, 比較的隔年結果も少なかった。刑部は隔年結果性が強く, 早生2号は最も収量

が少なかった。

品質については, 第1表に低温の影響を受けなかった1977年度の果実の品質の推移を示した。可溶性固形物は刑部, 田島, 平井が多く, 山口県選抜の各系統は少なかった。しかし, 早生系, 晩生系とも3月6日の第1回の分析時が最高で以降減少した。クエン酸は早生1号と川野が著しく少なく, 田島, 早生2号もやや少なく, 晩生167号, 380号, 谷川, 早生186の各系統は多かった。す上がりは, 1977年度は低温障害を受けるような低温に下がらなかったため, いずれも生理的す上がりと考えられるが, 晩生ナツといわれる田島, 平井に多く, 他の系統はほぼ同程度の発生であった。果皮の着色については, 田島, 平井, 刑部の3系統は遅い上に退色が早くから始まったが, 他の系統は早生系, 晩生系にかかわらず普通系と同じ傾向で回青までには至らなかった。このように品質の推移については何れも同様の傾向を示しており, 着色の遅い晩生ナツといわれる3系統はかえってす上がりが多く, 品質的には特に晩生の特色を示すものではなかった。

第1表 ナツダイダイ選抜系統の品質の推移

系 統 名	果実重 g		果 肉 歩 合 %				可溶性固形物 g/100g				クエン酸 g/100g				す上がり a	
	5月16日	3月16日	4月19日	5月16日	6月13日	3月6日	4月19日	5月16日	6月13日	3月6日	4月19日	5月16日	6月13日	5月16日	6月13日	
普 通	426	67.9	65.2	66.2	64.7	12.11	11.75	11.53	10.72	2.71	2.47	2.11	1.92	0.6	1.3	
川 野	444	67.4	64.9	65.8	63.2	12.36	11.72	12.19	10.94	1.77	1.60	1.39	1.42	1.0	1.3	
早 生 1 号	490	66.2	62.4	65.3	61.9	11.64	10.97	11.30	10.26	1.60	1.40	1.36	1.29	1.0	1.6	
“ 2 “	445	67.5	64.0	66.3	63.7	11.86	10.78	10.87	10.87	2.39	1.90	1.90	1.78	0.6	1.5	
“ 62 “	440	67.0	63.9	62.5	61.5	11.94	11.33	10.55	10.32	2.18	2.14	1.85	1.82	0.8	1.9	
“ 186 “	471	67.7	63.2	63.2	63.4	12.32	11.33	10.77	10.53	2.63	2.20	2.05	1.97	1.2	1.5	
晩 生 167 “	473	66.6	62.4	61.5	61.6	11.42	11.06	10.62	9.79	2.51	2.10	2.01	1.90	1.2	1.9	
“ 380 “	460	68.2	64.1	65.9	64.8	11.78	11.18	10.95	10.10	2.68	2.20	2.34	1.98	0.8	1.8	
山 路	510	68.7	69.9	66.5	64.2	11.96	11.82	11.30	10.47	2.41	2.37	1.93	1.81	1.0	1.9	
谷 川	506	66.7	61.5	59.7	61.7	12.40	11.55	11.25	11.21	2.77	2.68	2.32	2.10	1.0	1.2	
刑 部	536	62.6	58.2	59.8	61.3	15.28	14.40	13.02	12.80	2.77	2.23	1.96	1.68	1.2	1.6	
田 島	444	60.5	55.0	52.0	58.0	14.21	13.55	13.48	11.44	2.34	1.85	1.62	1.64	3.0	2.2	
平 井	484	60.3	56.5	52.4	56.2	13.80	11.88	13.12	11.11	2.44	1.90	1.78	1.77	2.4	1.4	

注) aす上がり程度は無0、微1、軽2、中3、甚4とし、5果の平均値で表わした。